

令和5年度の総会を6月28日に行いました。令和元年以来4年ぶりとなる参集しての開催になりました。この総会において5年間会長を務めた吉備昌彦会長が退任し、新たに馬原伸司会長が就任しました。

## I 新会長挨拶

日頃から、福事研の活動・調査等にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。また、時代とともに教育課題が多様化・複雑化している学校現場において、日々奮闘されている事務職員のみなさまに心より敬意を申し上げます。

私は、去る6月28日の総会を経て、吉備前会長の後を受け新会長の役を担うことになりました、川崎町立川崎中学校の馬原伸司(まはらしんじ)と



申します。前会長ほどの実践力や発信力はありませんが、私には2009年度(平成21年度)に開催された全事研福岡大会の前から研究特別委員及び副会長を今まで17年間関わらせていただいたという「経験」だけはあります。その経験をいかして、今まで培った福事研の残すべき部分はきちん

と継承しつつ、時代とともに変わるべき部分は柔軟に考えていきたいと思っていますので、何卒よろしくお願い致します。

学校教育法の「つかさどる」改正から6年が過ぎ、福岡県でも多くの自治体で「新しい職務標準表」の通知、及び共同学校事務室の設置が進んでいます。しかし、決してそれらを「つくる」ことが目的ではなく、その機能を定着、継続させていかなければなりません。とは言っても、学校・自治体・地区によって教育課題・教育環境は異なるので、それらのとりくみ方については一つではないはずです。よって、さまざまな自治体や地区の事務職員の実践を交流し合い、自分たちが勤務している「場所」では何ができるか、どのような方法でできるかを模索・確認をする「学びの場」が私たちには必要です。

そういう中、本年5月より新型コロナも5類移行となり、福事研活動も少しずつ4年前の開催形態に戻りつつあり、先日の総会も4年ぶりに参集開催で行いました。また、12月15日(金)に開催を予定している研究大会においても、一定数の要望があるオンライン開催の場を残しつつ、参集での開催を中心に実施する予定です。研究大会は、先ほども申し上げた事務職員の「学びの場」であることはもとより、事務職員どうしの「つながり」を広げる場であると思っています。特に2020年度(令和2年度)以降に採用された事務職員については、コロナ渦でこのような場が十分に保障されていなかったので、この研究大会が学ぶ場、

そして「横のつながり」を作る場になっていただければ幸いです。

福事研の企画・運営は役員・理事及び研究部員が中心となって行っていますが、今後福事研が活性化していくためには、みなさま一人一人の力が必要です。私たち事務職員個人の力は微力ではあるかもしれませんが、決して無力ではないはずで、どんな小さなことでも構いませんので、福事研活動に積極的に関わっていただき、意見を出し合ったり企画・運営や実践報告等に携わっていただければ、もっと魅力的な福事研になると思っていますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

福岡県小中特別支援学校事務職員研究会  
会 長 馬原 伸司

## II 令和5年度 総会

開催日 令和5年6月28日

会 場 天神クリスタルビル

### ○ 会長挨拶（吉備前会長）



皆様こんにちは。本日は第25回福事研総会にお集まりいただきましてありがとうございます。

前回このように対面で総会を行ったのは令和元年のことになります。コロナ禍以前は、集まっているいろいろな論議をしていただき、一年の方針を決めていくというのが当たり前のことでした。しかし、それができない！当たり前のことが実は当たり前ではなかったということに初めて直面し、失くして初めて知るといえるか、その大切さに気付かされました。今日も本当に何年かぶりにお顔を拝

見する方もいらっしゃいます。こうやって顔を合わせる事がかくも嬉しいことだということを改めて感じさせていただいているところです。本日もさまざま議題があります。それから終了後には、千葉工業大学福島先生のご講演もごございます。長丁場になりますけれども、最後までよろしくお願ひ致します。

### ○ 議事

- ① 令和4年度事業報告に関する件  
柴田事務局長より報告 →賛成多数で承認
- ② 令和4年度決算に関する件  
河野事務局次長より報告→賛成多数で承認
- ③ 令和4年度会計監査に関する件  
監事より報告 →賛成多数で承認
- ④ 令和5年度役員承認に関する件  
戸渡事務局長より提案 →賛成多数で承認
- ⑤ 令和5年度事業計画に関する件  
戸渡事務局長(組織運営)、石川副会長(研究)、永野副会長(広報)より提案  
賛成多数で承認
- ⑥ 令和5年度予算に関する件  
久光事務局次長より提案→賛成多数で承認
- ⑦ 規約改正に関する件  
柴田副会長より提案  
研究会の名称変更について  
3分の2以上の賛成が無く否決

## III 研修会

総会終了後、研修会を行いました。第1部は令和5年度研究活動について石川健一郎研究部長が説明を行いました。第2部は「隠れ教育費——学校のモノ・コトと財務——」と題して千葉工業大学工学部准教授 福嶋尚子(ふくしま しょうこ)氏に講演をいただきました。福嶋先生の講演はここでは紹介できませんが、わかりやすくとても参考になる話でした。

第1部の内容を紹介します。



こんにちは。篠栗町立勢門(せと)小学校の石川健一郎と申します。私から本日は、令和5年度福事研研究活動について、お話をいたします。

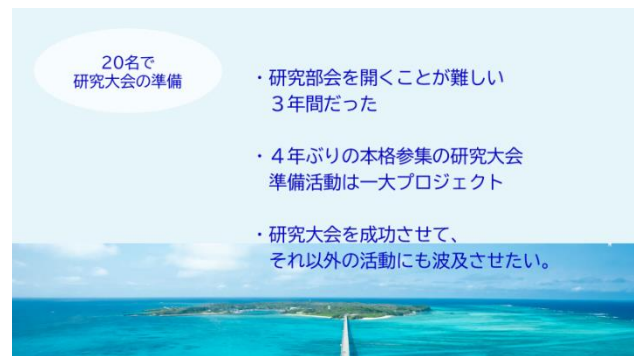


私、石川は、今年度より研究部長に就任しました。総会で承認をされたのちに部長と名乗るのが正しい扱いなのですが、前年度より研究部員をしておりましたので、実際には今年度の4月より研究の準備を進めさせていただいております。部長という立場を認識するようになって3ヶ月が経ちましたが、まだ慣れないことが多いです。対して、世の中の動きは早く、コロナによる行動制限の解除を経て、ニューノーマル・新しい日常が始まっています。

本日は、部長就任の最初のつとめとして、会員のみなさまにお知らせをしたいと思います。当初私が用意していたスライドはとても武骨なものでしたが、研究部員の方に大幅に修正していただき、このように海を背景にしたキレイなスライドにいただきました。これを使って本日はお話をさせていただきます。



では、研究部の取り組みについて、お知らせします。私は昨年度まで研究部員を務め、今年度研究部長に就任させていただきました。会員の皆様に、研究大会だけでなく研究部のこともお伝えしたいと思い、本日お話をさせていただきます。



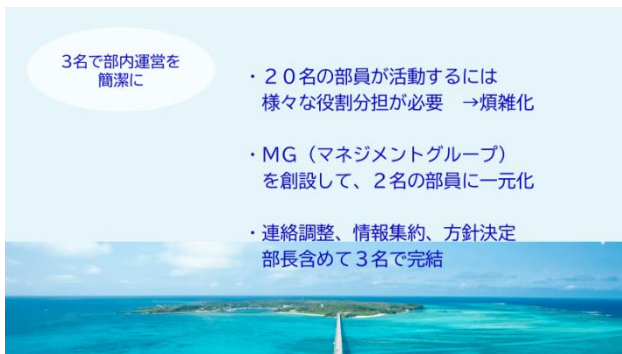
20名で研究大会の準備。

コロナの期間中は行動制限などもあり、研究部の集まりが急遽中止になったり、オンラインの話し合いを余儀なくされるなど、厳しい3年間が過ぎました。

今年度になり、ようやく4年ぶりの本格参集の研究大会が開けるようになりました。研究部としてもこの大会準備は一大プロジェクトになります。分担を進めていくだけでも、大掛かりな活動になりそうです。

研究部の創設以来、常設研究や支部との交流など様々な役割が期待されてきましたが、まずは研究大会を成功させて、それ以外の活動にも波及させていきたいと思っています。





3名で部内運営を簡潔に。

部長を含めて20名の研究部員が活動をしていくためには、実にいろいろな役割分担やリーダー決めが必要でした。ただ、ちょうどいい塩梅が難しく、分ければ分けるほど、だれが何をやっているのか、だれに聞けばいいのか、分からなくなる実態も発生してしまいました。

そこで、MG、マネジメントグループを創設して、分担していた役割を2名に一元化しました。具体的には、部員への一斉連絡、意見集約、日程調整、会場確保、毎回の研究部会の構成決めなどです。部長を含めて3名で、そうした連絡調整、情報集約と方針決定を完結させるように改めました。

き、設問以外にも説明ページやリンクを加えることもできます。これを応用して、複数のフォームをリンクでつないで、あらゆるデータをスプレッドシートに集約できる簡易的なwebサイトに作り替えることができました。私たちはこれをポータルと呼んでいます。

このポータルの仕組みをつくることで、従来のメールや電話を使ったやりとりから解放されました。部員は時間のあるときに、メールの履歴を探すことなく、いつでもどこでも研究部の情報がチェックでき、反応を返すことができます。運営しているMG側も、部員の声をもらってフォームそのものをすぐに編集することができます。お互いに時間を合わせて活動していないのに、やりとりのスピードは格段に向上しました。

このように、話し合いやデータのやりとりの負担を減らし、みんなが集まる研究部会の時間に活動そのものに集中できる時間を増やしていこうと考えています。研究部は宿題がつきものといった負のイメージを払拭し、ひとりですること、みんなと一緒にできることを上手に整理して、研究のやりがいを追求していけるようにしていきたいと思います。



Google フォームでポータル作成。

研究部が集まる時間は限られています。月に1回程度、研究部会を開催していますが、研究大会は大きな取組みですから、様々なことをひとつひとつ話し合っ決めていくと時間が足りません。

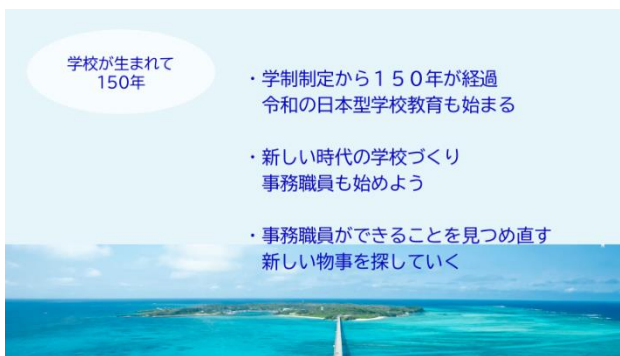
そこで、Google フォームを活用しました。Google フォームはアンケートを取るための機能でおなじみですが、モバイル機器からもアクセスで



このように工夫、改革をしていくことで、研究部の活動を持続可能な研究活動へと発展させていきたいと思っています。



つづいて、研究大会の構想について、お知らせします。



学校が生まれて150年。

現在は節目のときを迎えています。コロナの行動制限が解除されたこともさることながら、明治の近代的教育制度の始まりである学制の制定から150年が経過しています。文科省や中教審では、令和の日本型学校教育について提唱がなされています。勤務校では学校行事も本格的に再開していると思います。

これは、新しい時代の学校づくりが始まっていると言うことができます。事務職員もこの流れに合わせて力を発揮していきたいですね。

事務職員ができることについても、見つめ直す時期に差し掛かっています。従来の枠組みにとらわれず、新しい事象から学べるものを探していく必要があります。

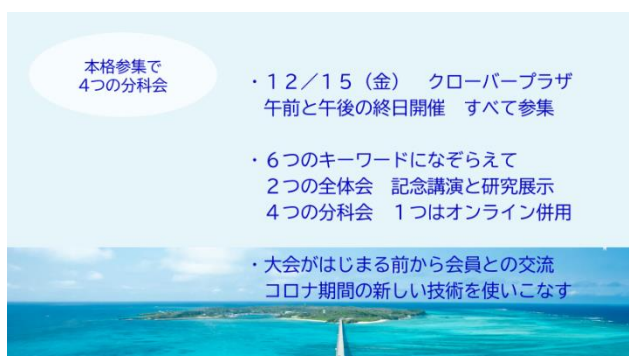


そこで、今年度の研究大会のテーマを、学校づくり新時代、事務職員だからできること、と設定しました。

このテーマを展開するため、回顧、巡検、共創、挑戦、結実、伝播の6つのキーワードを設定しました。

聞きなれない言葉も入っているかとおもいます。なぜこの6つなのか、これらはどういう意味なのかについてなど、

具体的なことは今後お知らせしていきます。



本格参集で4つの分科会。

今年度の研究大会は12月15日金曜日、春日市のクローバープラザで午前と午後の終日日程にて開催する予定です。すべて参集による開催です。6つのキーワードになぞらえて、2つの全体会、記念講演と研究展示、4つの分科会（うち、ひとつはオンライン併用）を計画しています。

今回のお話でここまで踏み込んだ予告をさせていただいているのも、大会が始まる前から会員みなさんとの交流を図りたいからです。

会場の席に座って参加していただくだけではな

く、事前の意識調査、発表や報告、作品づくりなどでも会員のみなさんのお力もお借りしていきたいと思ひます。

そのため、コロナ期間に培った新しい技術をきちんと活用して、みなさんに効果的に情報発信してまいります。

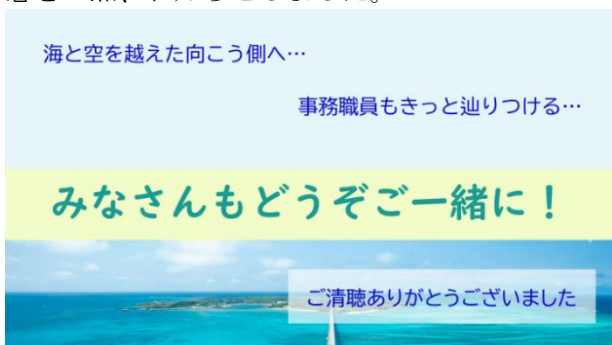
研究大会は、県内の会員が集う唯一無二の場所です。終日参集できる研究大会が4年ぶりに実現します。



コロナの我慢の時期を経て、みなさんが思う存分交流していただけるように、工夫を凝らして準備してまいります。



以上、本日は新しい部長の New Wave と題して、今年度の研究部の取り組みを3点、研究大会の構想を3点、お知らせしました。



この海と空を越えた向こう側、いったい何が見えるのでしょうか。

事務職員もきっと辿りつけると信じています。

みなさんもどうぞ一緒に新時代へと進んでいきましょう。

ご清聴ありがとうございました。



## ○第2部 講師紹介

福島 尚子氏

千葉工業大学工学部教育センター社会教室准教授  
日本教育事務学会常任理事（国際交流委員長）

### 【モットー】

「子どもを排除しない学校」「学校の自治」「公教育の無償性」の実現、「教職員の専門職性」の確立

### 【主な著書】

- ・「隠れ教育費：公立小中学校でかかるお金を徹底検証」（柳澤 靖明・福島 尚子 共著）
- ・「学校事務職員の基礎知識—なりたひと・仕事の内容を知りたいひとへ—」





令和5年度 年間事業スケジュール

月	活動項目	活動の細目
4	理事選出 幹事会 研究推進委員会 (新旧理事会)	令和4年度会計監査 令和5年度役員・理事確認 令和5年度総会計画審議研究討議 総会の運営計画審議 令和5年度総会議案書審議
5	研究推進委員会 (新旧理事会) 評議員会 ・支部代表者会 研究部会	総会議案書の提案 新採・未加入者の勧誘 総会・支部代議員の選出 全事研会報の配布 全事研5月調査の提案 会員名簿の作成 役員候補者選考委員選出 研究討議
6	第25回総会 研究部会	総会の開催・運営 事業報告・決算報告・事業計画等 会費納入依頼 研究討議
7	研究部会	研究討議 会報「福事研」(46号)の発行
8	全事研総会 全事研福井大会 研究推進委員会 (理事会) 研究部会	下半期の事業計画等 研究討議
9	九州地区事務研 究会連絡協議会 研究部会	九州地区事務研究会連絡協議会の対応 全事研会報の配布 研究討議
10	研究推進委員会 (理事会) 研究部会	研究討議
11	研究推進委員会 (理事会) 研究部会 役員候補者選考委員会	全事研11月調査の集約依頼 第26回研究大会の計画・業務分担審議 研究討議 令和6年度役員候補者の選考
12	研究部会 第26回研究大会 役員候補者選考委員会	第26回研究大会の開催・運営 全事研会報の配布 令和5年度役員候補者の選考
1	研究部会 役員候補者選考委員会	研究討議 令和6年度役員候補者の選考
2	役員候補者選考委員会 研究部会 全事研評議員会 研究推進委員会 (理事会) 全事研セミナー	令和6年度役員候補者の選考 研究討議 令和5年度研究のまとめ 会報「福事研」(47号)の発行
3	研究部会 研究推進委員会 (理事会)	研究討議 令和4年度研究のまとめ 令和5年度計画立案

令和5年度(2023年度)役員

役職名	氏名	所属名	
会長	馬原 伸司	川崎町立 川崎中学校	
副会長	柴田 正治	大野城市立 平野中学校	
	石川健一郎	篠栗町立 勢門小学校	
	永野 修	小郡市立 三国中学校	
	武富 理沙	福岡市中部 共同学校事務室	
	森 聡	北九州市立 高等学校	
事務局長	戸渡 絵梨	那珂川市立 岩戸北小学校	
事務局次長	久光 裕美	春日市立 春日北中学校	
事務局員	山口 理奈	北九州市立 牧山小学校	
	溝部 憲将	北九州市立 富野小学校	
	野見山 佑	嘉麻市立 嘉徳小学校	
	井上 香純	中間市立 中間南小学校	
	河野 正和	みやこ町立 豊津小学校	
	花村 雄大	八女市立 見崎中学校	
監事	神崎 千春	みやこ町立 犀川小学校	
	要 貴志	みやこ町立 伊良原中学校	
	近藤ゆかり	筑後市立 二川小学校	
	谷平 佳久	遠賀町立 広渡小学校	
理事	京築地区	松口 栄治	豊前市立 角田中学校
	北九州地区	財前 勝彦	直方市立 直方第三中学校
	筑豊地区	縄田 知子	飯塚市立 徳波西中学校
	福岡地区	播磨 秀俊	糸島市立 前原南小学校
	北筑後地区	塚本 勝也	小郡市立 味坂小学校
	南筑後地区	今田裕一郎	大川市立 木室小学校
	福岡市	末武 勝信	福岡市立 三宅中学校
北九州市	比留間 暁	北九州市立 尾倉中学校	

～あつがき～

令和元年以来4年ぶりの参集しての総会の開催となりました。このまま12月の研究大会も参集で行えるよう願っています。

